

# マイナンバーが情報システムに 求めるモノ

---



RITSUMEIKAN

立命館大学  
情報理工学部

上原哲太郎

# Outline

---

- 一般論としてマイナンバーは情報システムにどのように影響するか
  - 特定個人情報保護評価制度が求める範囲
  - 「特定個人情報ファイル」が鍵だがこれが解りにくい
  
- それが地方公共団体の情報システムにいかに関与しているか
  - 特定個人情報保護評価の遅延

# 特定個人情報保護評価とは

- 特定個人情報ファイルを保有しようとする又は保有する国の行政機関や地方公共団体等が、個人のプライバシー等の権利利益に与える影響を予測した上で特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを分析し、そのようなリスクを軽減するための適切な措置を講ずることを宣言するもの。
  - 民間で影響するのは情報提供ネットワークを利用する健康保険組合等のみで当面は義務がない
- 実施単位は「特定個人情報ファイルを取り扱う事務」
  - ただし単一の「情報システム」が複数の事務を処理している場合は、まとめた評価も可能

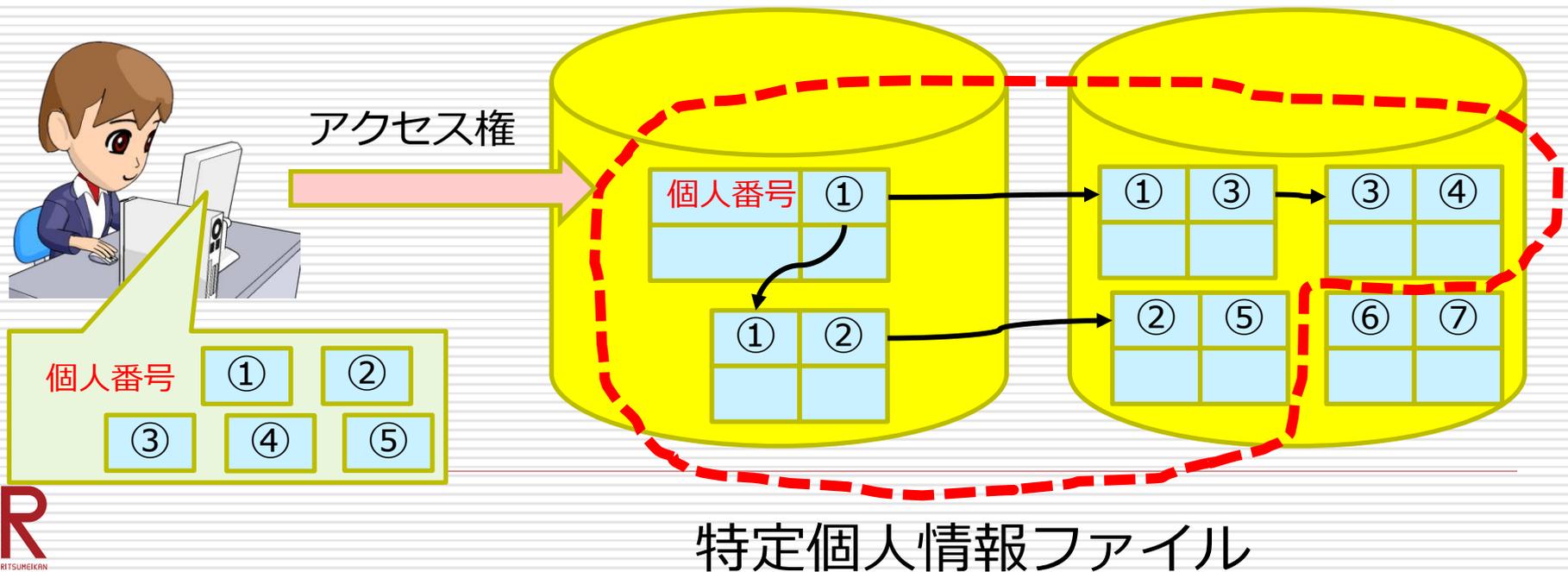
# 特定個人情報ファイルとは

---

- 個人番号をその内容に含む個人情報ファイルまたは個人情報データベース等をいう
    - 個人情報ファイルとは個人を含む情報の集合体であって、個人情報を検索できるように体系的に構成したもの（行政機関個人情報保護法および独法等個人情報保護法における定義）
    - 個人情報データベース等は個人情報保護法における定義
  - 「ファイル」「データベース」に引きずられると理解を誤る
-

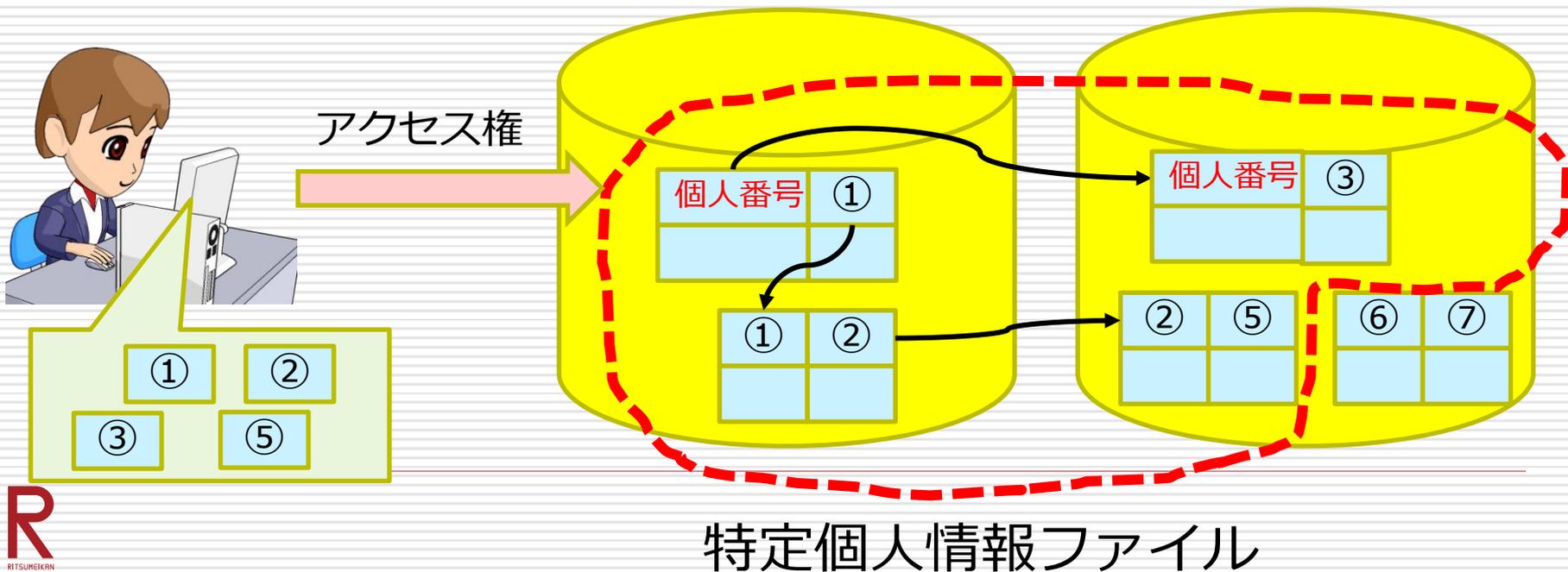
# 「個人番号をその内容に含む 個人情報ファイル」とは

- 「個人番号にアクセスできる者が、  
個人番号と紐付けてアクセスできる情報」
- 単なるファイルやテーブルを指していない  
(データベース正規化を意識)



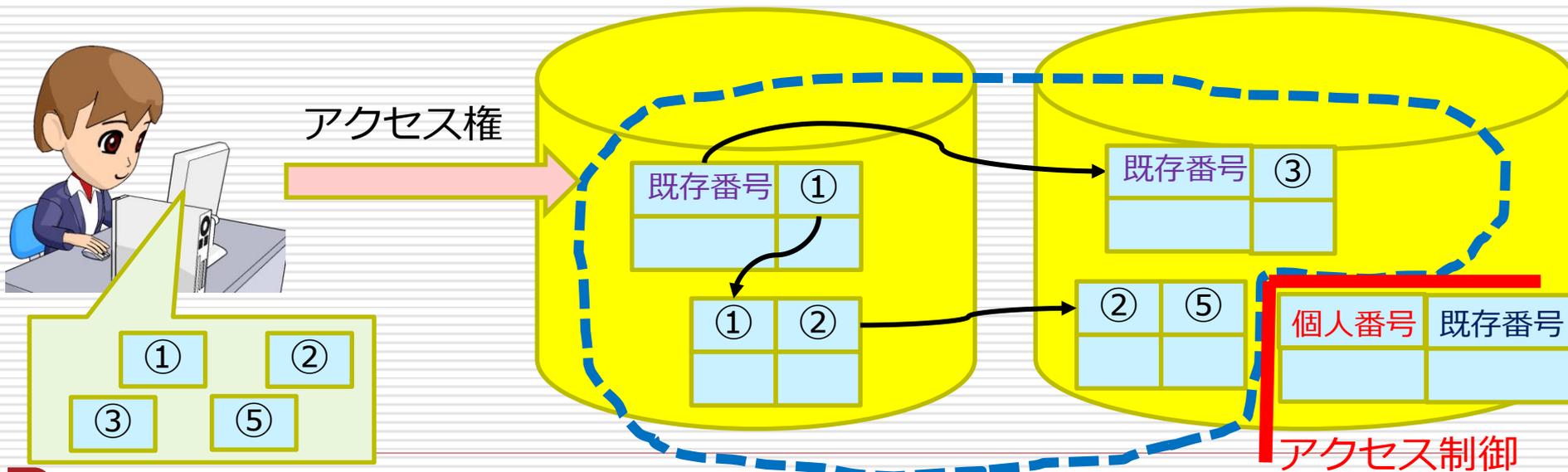
# 特定個人情報ファイルの わかりにくさ

- 画面上に個人番号が使われていなくても  
内部で検索キーとして個人番号が利用され  
紐付けてアクセスできるなら  
特定個人情報ファイル



# 既存の番号で連携してるDBは？

- 既存の番号で紐付けが行われていても  
個人番号そのものにアクセスできないよう  
アクセス制御がなされていれば  
特定個人情報ファイルにあたらない



特定個人情報ファイルではない

# 既存番号など「他の番号」の扱い

---

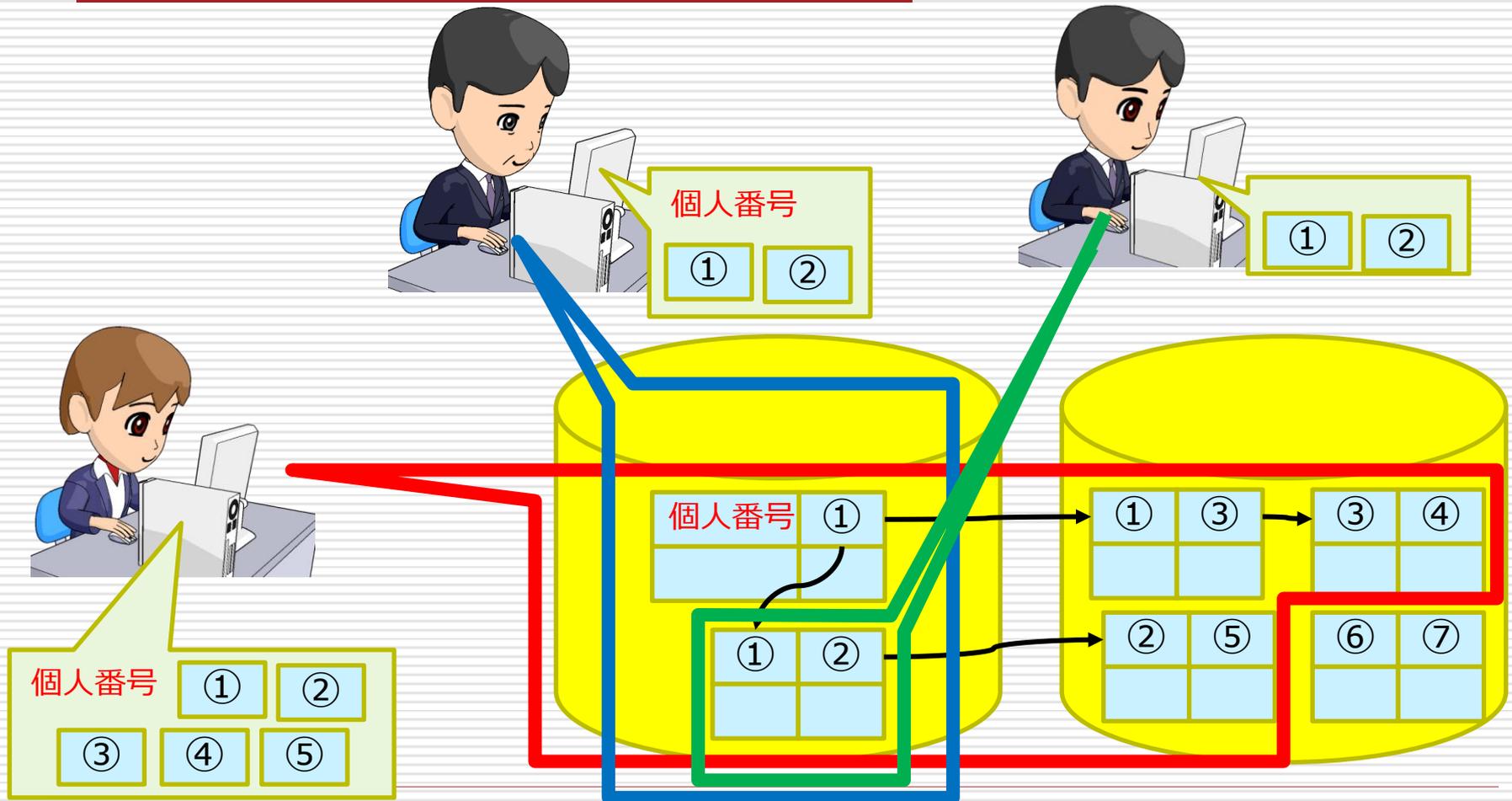
- 個人番号から「一定の法則により」生成される番号は個人番号と同等に扱う
  - ハッシュ関数を通して同じ
  - 「暗号化」も同じ扱い
- 独自に付番した後紐付けする場合はその紐付テーブルへのアクセス制御で特定個人情報ファイルになるか否か変わる
- 技術的には「暗号化」に深掘りが必要？
  - うまくやれば悉皆性以外は同等に思える

# 業務とシステムと 特定個人情報ファイル

---

- 各業務において求められるのは...
  - 業務従事者の限定と適切なアクセス権付与
- システムに求められるのは...
  - 業務に応じたアクセス権においてアクセスできるデータを最小限に
- これがシステムとして設計できて初めて「特定個人情報ファイル」が定義できる
- 同一システムを複数業務で使うと「特定個人情報ファイル」が複雑に

# アクセス制御されている範囲が 特定個人情報ファイルの定義に反映



# 特定個人情報ファイルの定義の わかりにくさ

---

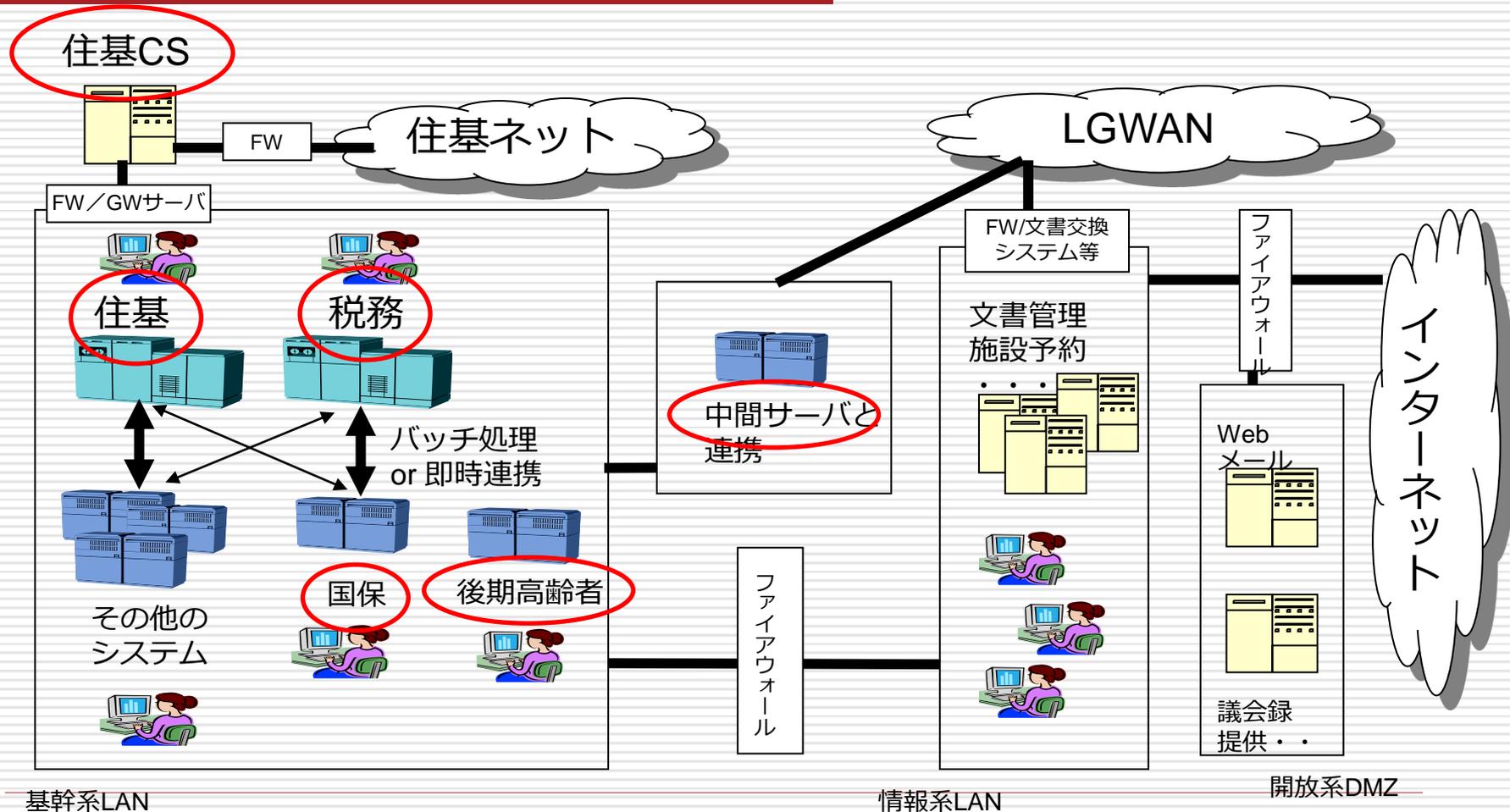
- 特定個人情報ファイルは「業務視点」で定義されている
  - プライバシーの視点からはそれが重要
- 一方システム設計者は「漏えい」からの安全保護措置の単位を考えるのでDBファイルやテーブルを基準にする
  - セキュリティの視点からはそれが自然

# 情報システムへの要求事項は単純

---

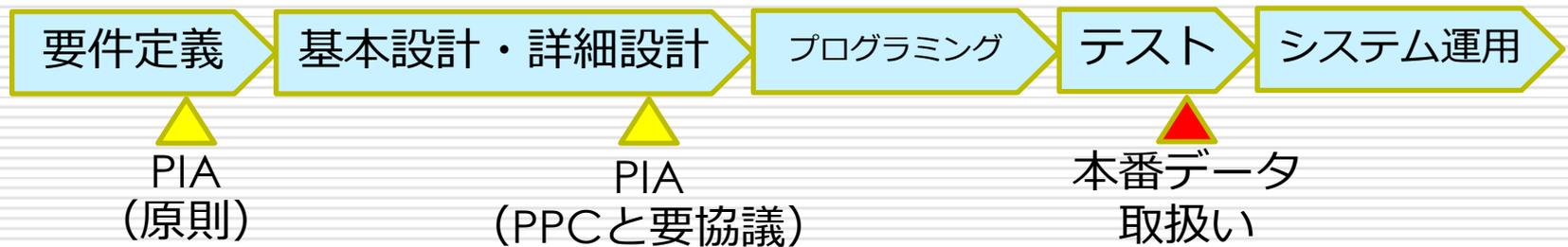
- 業務ごとにアクセスが必要な情報の範囲を特定する
  - 業務従事者の役割の細分化が重要
- 個人番号を用いた連携が必要ならば特定個人情報ファイルなので適切なアクセス制御と安全管理措置
- ただし実装は容易ではない...
  - 例：「システム管理者の個人番号へのアクセス権」

# 典型的自治体情報システム

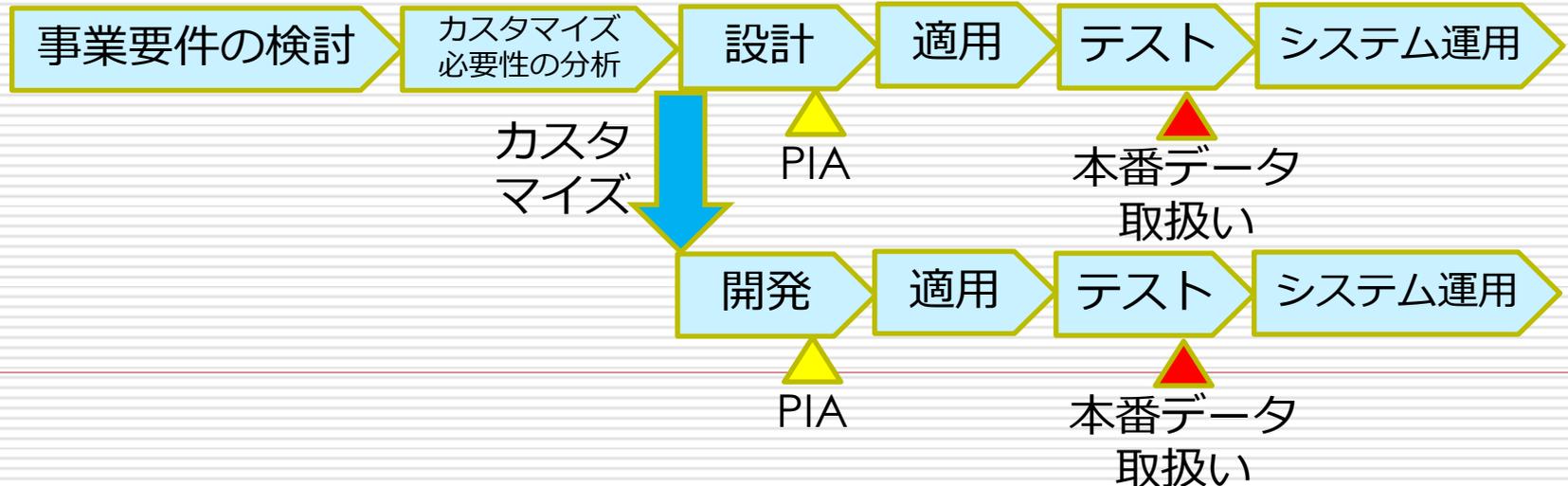


# 自治体システム改修にかかる作業と特定個人情報保護評価（PIA）

## ➤ 通常の場合



## ➤ パッケージを利用する場合



# 自治体の現場では...

---

- そもそもPIAが実効しているか？
  - 業務の洗い出しだけでも大変な作業
  - システムの中身はベンダー任せ
  - 作業の遅れにより「コピペ」的な評価書が...
  - 第三者評価のリソース不足
- 社会保障は自治体独自施策が多い分野
  - 独自システムやカスタマイズが多い
  - 個人番号の独自利用が業務効率化に役立つか？